

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

Soeda
Public
Relations

広報



色鉛筆で
上手に描けたよ！

NOV.2019

11

No.697

◎プロに学ぼう！学校de芸術体験（詳細は 8 ページ）



↑「センター内ではコーヒーや曜日限定でパンの販売などもしています。皆さんお気軽にお越しください」と語る添田町サポートセンタースタッフの井上直生室長㊤、財津政敏さん㊦、奥永美枝子さん㊦

また、施設内には誰でも利用できる軽食喫茶店やコインランドリー、交流スペースを設けており、住民の憩いの場として、地域間、世代間のコミュニケーションを図ることができます。皆さんもぜひ、利用してみてはいかがでしょうか。

添田町サポートセンター 朝日ヶ丘団地B棟の1階に設置された見守りや買い物支援などの高齢者等生活支援サービスを行う拠点。また誰でも利用できる交流スペースやコインランドリー、軽食喫茶店などもあり、地域住民の憩いの場としての機能も充実している。

●高齢者等見守りサービス 住み慣れた地域で安心した生活を

●テレビ電話サービス

テレビ電話(タブレット端末)を自宅に設置し、週1回の見守りコールで安否確認を行います。

【対象者】

▶65歳以上の高齢者のみの世帯 ▶重度身体障がい者のみの世帯(身体障害者手帳1、2級) ▶家族が同居しているが、仕事などで不在がちで65歳以上の人が長時間単身となる世帯 ▶その他特に必要と認められた人

【利用料】

機器の貸し出しや操作支援、安否確認などは無料 ※電波状況によってはインターネット契約が必要な場合があります。

添 田町の高齢化率は約42%。これは県内で2番目に高い数字です。町では、高齢者の皆さんに住み慣れた地域でいつまでも安心して生活を送ってもらおうと、さまざまな支援事業を行っています。

新しく朝日ヶ丘団地に併設された高齢者の支援を行う拠点となっているのが添田町サポートセンターです。町の委託を受けた光和苑の職員が常駐し、テレビ電話で定期的な見守りコールをする安否確認やスーパへの送

迎や商品宅配サービスなどの買い物支援サービスなどを行っています。これらのサービス利用料は無料で、町内の65歳以上の高齢者世帯や重度身体障がい者のみの世帯などが対象となり、役場での利用申し込みが必要です。

**多様化する福祉ニーズに対応する拠点
住民の皆さんの語らいの場として**

朝日ヶ丘団地に併設された添田町サポートセンター。高齢者支援の拠点としてだけでなく、コミュニティスペースとして皆さん利用できます。主に運営を行うのは、社会福祉法人光和苑です。

社会福祉法人光和苑

苅田町などで家庭的な環境と地域とのふれあいを大切にした福祉を理念に障害者支援施設やグループホーム、特別養護老人ホームなどを運営

☎ 役場保健福祉環境課福祉・高齢者支援係 (☎ 82-1232)

●買い物支援サービス

交通の不便な地域を対象に隔週で、自宅から商店までの送迎を行う「買い物送迎サービス」と決まった曜日に電話で注文した商品を自宅に届ける「宅配サービス」の2種類を提供

【対象者】

▶75歳以上の高齢者のみの世帯 ▶重度身体障がい者のみの世帯(身体障害者手帳1、2級) ▶その他特に必要と認められた世帯

【利用料】

無料



第1期工事のA棟とB棟が完成

朝日ヶ丘団地

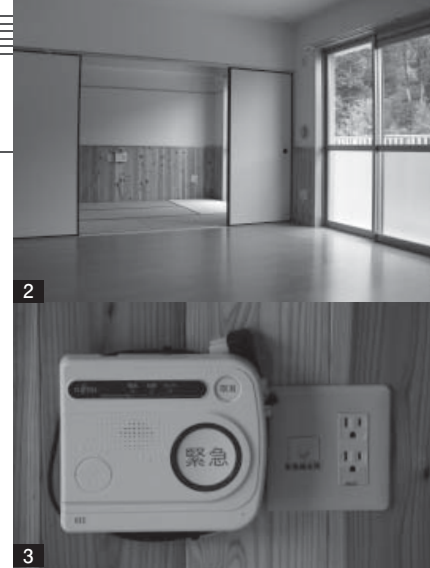


福祉拠点や住民の憩いの場も併設

平 成30年度から建て替え工事が進む町営朝日ヶ丘団地の第1期工事が終了し、8月から入居が始まっています。朝日ヶ丘団地は、昭和40年から53年にかけて建設された町営住宅ですが、老朽化のため、町営住宅長寿命化計画に基づき建て替えが進められ、令和7年度までに35棟120戸が建設される予定です。

第一期工事は総工費約7億5千万円。鉄筋コンクリート造3階建てのA棟27戸とB棟8戸が完成しました。A棟には、1DKを採用、敷地の高低差を利用し、A棟の2階とB棟の1階を同じ高さにして、直接行き来できるようにになっています。また、社会福祉法人光和苑(高村巨人理事長)が、B棟の1階に軽食喫茶店や交流スペースを備えた添田町サポートセンターを開設。内装や備品等を整備し、高齢者の生活支援サービスを展開します。10月1日に行われた添田町サポートセンターのオープニングセレモニーには寺西明男町長や畠田勝廣町議会議長、地域の皆さんが出席。高齢者支援だけではなく、地域の皆さんの憩いの場、コミュニティの場となる新しい福祉拠点が朝日ヶ丘団地に誕生しました。

1 令和元年8月に完成し、入居が始まった朝日ヶ丘団地A棟とB棟。鉄筋コンクリート造3階建てのA棟にはエレベーター、B棟には福祉施設が併設されています 2 A棟は1DK12戸、2DK9戸、3DK6戸、B棟は2DK8戸の合計35戸が完成しました 3 もしもに備え緊急通報ボタンが設置されている部屋もあります



4 敷地の高低差を生かし、A棟の2階とB棟の1階が同じ高さになるように設計。また、A棟とB棟の間には、渡り廊下が設けられ、各棟へ行き来しやすくなっています



5 B棟の1階に開業したコインランドリー 6 7 開所を記念し、お披露目も兼ねて行われたオープニングセレモニー



令和7年度までに全120戸を整備予定

朝日ヶ丘団地

朝日ヶ丘団地は、平成27、28年度に策定された基本構想と基本設計に基づき、今後も解体と造成、建築が繰り返し実施され、令和7年度にすべて工事が終了する予定です。すべての工事が終了すると鉄筋コンクリート造3階建てが3棟56戸、1棟2戸住の木造平屋建てが64戸となり、全120戸となります。



↑朝日ヶ丘団地の完成予定図。全120戸の住宅が整備される予定です

※各数値は端数処理していますので、合計が一致しない場合があります。

健全な財政運営のために

平成30年度の決算に基づく財政破綻防止を目的に示される健全化判断比率と資金不足比率の算定結果は、下表のとおり、いずれも基準を下回り、比較的健全であることがわかります。しかし、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、99・1％と以前として厳しい状態にあります。

今後も、自主財源の確実な確保に努め、限られた財源の中で、更なる事業事務の見直しや経常経費の削減を図っていきます。

自主財源の割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるため、今後も自主財源を上げるための施策に取り組んでいきます。

歳出の主な事業

昨年度の主な事業としては、朝日ヶ丘団地の建て替えを進め、A棟27戸と福祉施設を併設したB棟8戸の建設工事を行っています。また、平成29年度に発生した九州北部豪雨の災害復旧事業として、17か所で災害復旧に向けた工事を行いました。

平成29年度に倒木した吉木のヤマザクラを活用した復興祈願ミニメントの制作。その資金は、町内外からインターネットなどを通じて支援を募るクラウドファンディング方式で調達しました。

町の財政状況の公表

財政状況を早期に把握し、破綻の未然防止や財政構造の弾力性を示す、健全化判断比率と資金不足比率、経常収支比率を公表します。

健全化判断比率	添田町	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計などの赤字から財政運営の深刻度をみる比率	－ (△4.03%)	15.00%
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	－ (△15.57%)	20.00%
実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	5.0%	25.0%
将来負担比率 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	－ (△66.2%)	350.0%

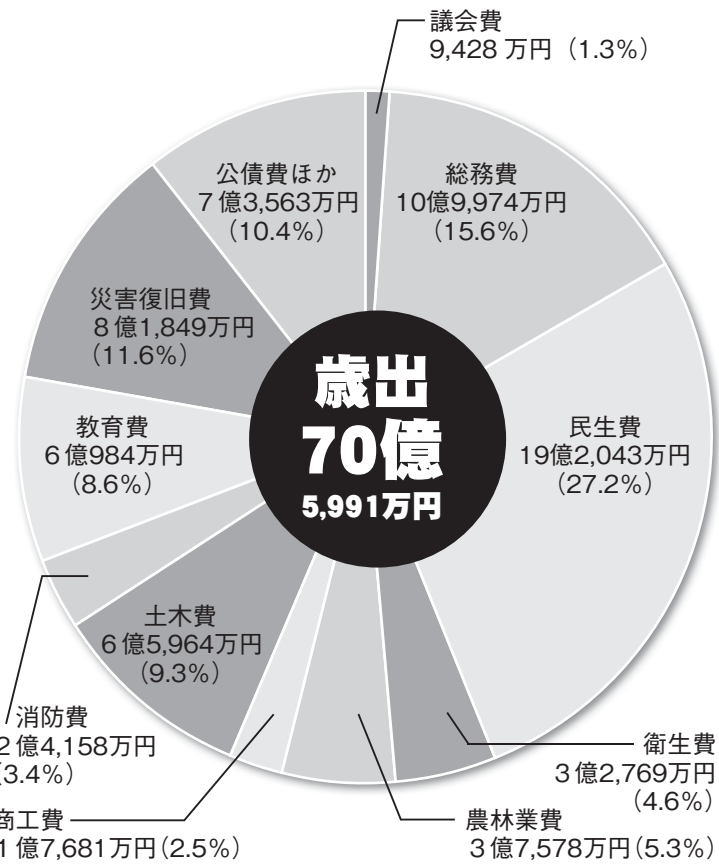
※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字額がなく、将来負担比率は実質的な負債がないため「－」と記載しています。()内は参考に黒字の比率を△(マイナス)で示しています。

資金不足比率	添田町水道事業	経営健全化基準
公営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率	－ (△207.5%)	20.00%

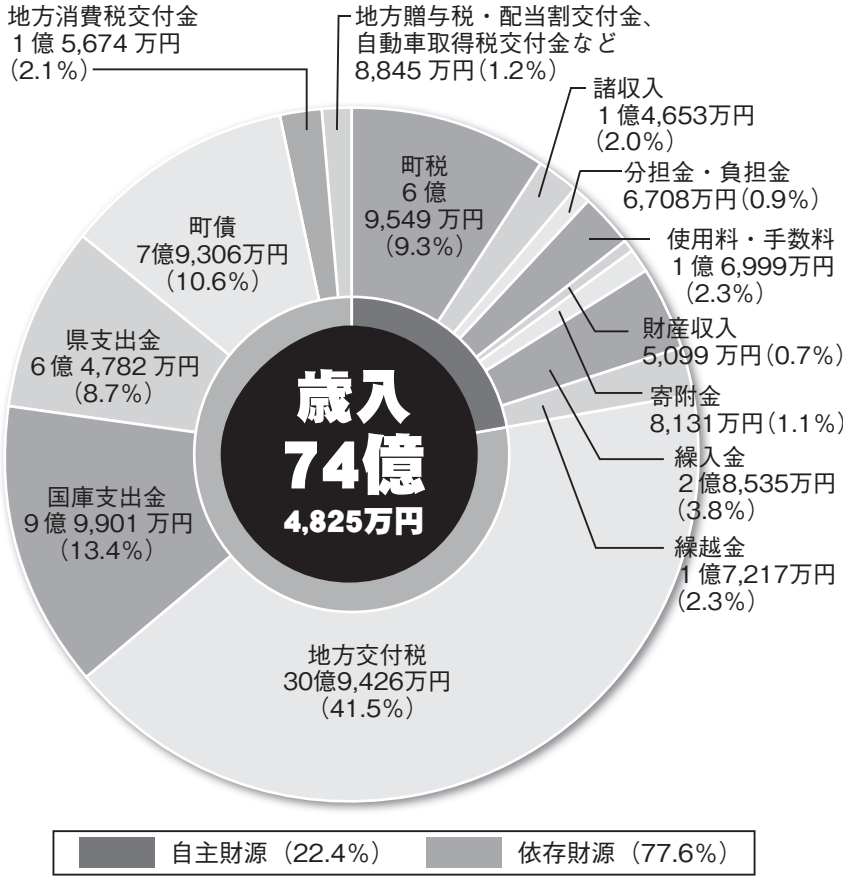
※資金不足が生じていないため「－」と記載しています。()内は参考に剰余金の比率を△(マイナス)で示しています。

経常収支比率	平成30年度	平成29年度
財政の弾力性を判断する指標で数値が小さいほど弾力性がある	99.1%	99.2%

▶一般会計歳出



▶一般会計歳入



自主財源 (22.4%) 依存財源 (77.6%)

決算報告

平成30年度 まちの財政状況

平成30年度の決算がまとまりました。歳入歳出差引から翌年度繰越事業充当財源を引いた実質収支は、一般会計が1億4,252万円の黒字、特別会計・企業会計が5,105万円の黒字。合計1億9,357万円の黒字決算となりました。今月号では、平成30年度に皆さんから納められた税金や、国・県から入ったお金がどのように使われたのかを報告します。

▶令和元年度予算執行状況

令和元年9月30日現在の上半期予算執行状況をお知らせします。

令和元年度上半期(4月1日～9月30日)の予算執行状況は、一般会計と特別会計・企業会計を合わせた収入額が、41億1,538万円で収入率は41.7%、支出額は35億4,217万円、執行率は35.9%となっています。

区分	予算額	収入額	収入率(%)	支出額	執行率(%)
一般会計	81億6,960万円	33億7,276万円	41.3	29億5,766万円	36.2
特別会計・企業会計					
国民健康保険	12億9,721万円	5億3,574万円	41.3	4億5,939万円	35.4
後期高齢者医療	1億8,175万円	8,591万円	47.3	5,020万円	27.6
住宅新築資金等貸付	129万円	184万円	142.6	2万円	1.6
バス事業	2,223万円	1,911万円	86.0	878万円	39.5
水道事業	(歳入) 2億488万円 (歳出) 2億179万円	1億2万円	48.8	6,612万円	32.8
合計	(歳入) 98億7,696万円 (歳出) 98億7,387万円	41億1,538万円	41.7	35億4,217万円	35.9

▶特別会計・企業会計

特定の事業を行う特別会計は、皆さんが支払う保険税や使用料で運営されています。

区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	11億8,470万円	11億5,357万円	3,113万円
後期高齢者医療	1億7,113万円	1億7,014万円	99万円
住宅新築資金等貸付事業	341万円	323万円	18万円
バス事業	2,155万円	2,120万円	35万円
水道事業	2億1,455万円	1億9,615万円	1,840万円
合計	15億9,534万円	15億4,429万円	5,105万円

特定の事業を行うために一般会計とは別に設置される特別会計と水道事業に設置されている企業会計は、皆さんが支払う保険税や使用料で運営されています。本町の各特別会計の決算では、いずれも赤字はありませんでした。

INFORMATION

ご支援とご協力をお願いします

令和元年台風第19号による 災害義援金を受け付けます

町では、令和元年台風第19号によって被災された方々を支援するため、義援金を募集しています。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災者に届けます。



- ▶募金箱の設置期限 **12月27日(金)**
9時～17時／土日祝日除く
- ▶設置場所 役場1階ロビー
※受領証明書が必要な場合は、2階総務課まで義援金を持参してください。
- ☎ 役場総務課総務係 (☎ 82-1231)

筑豊地域の伝統芸能・民俗芸能大集合

ふくおか県民文化祭2019 英彦山と筑豊の祭り



筑豊地域に伝わる伝統芸能・民俗芸能の数々が一堂に集結。ロビーでは、見ごたえある祭りをテーマにした写真展も同時開催します。郷土愛に満ち溢れた祭りの熱気、活気ある筑豊パワーをぜひ会場でご覧ください。

- ▶と き **11月23日(土祝)**
9時30分～16時30分
- ▶ところ オークホール
- ▶入場料 無料
- ▶出演団体 ①和太鼓たざり(糸田町) ②野田獅子楽(添田町) ③我鹿太鼓巫女舞(赤村) ④英彦山鉦舞(添田町) ⑤金田一区獅子楽(福智町) ⑥土師神楽座御神楽(桂川町) ⑦安宅の獅子舞(川崎町) ⑧彦山踊り(添田町)

【基調講演(11時～12時)】

- ▶テーマ 「豊前地域の民俗芸能」
- ▶講師 別府大学文学部史学・文化財学科教授 段上達雄氏
- ☎ オークホール(☎ 82-2559)

地震や武力攻撃発生時に備えた全国一斉放送訓練

全国瞬時警報システム Jアラート放送訓練

大災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも町内に設置している防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。今回行うのは放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。



●全国瞬時警報システム(Jアラート)放送訓練

- ▶と き **12月4日(水)** 11時頃

- ①開始チャイム
②「これはテストです」
③「こちらは防災添田町です」
④終了チャイム

※全国瞬時警報システム(Jアラート)とは、他国からの弾道ミサイル情報や緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、町の防災無線のスピーカーを自動起動することで、国から住民の皆さんへ緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

☎ 役場防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)



ワークショップに参加しませんか

絵本作家はたこうろうさんと 等身大のじぶんをえがこう！

絵の具をたっぷり使って全身で等身大の自分をえがきます。よごれてもいい服で参加してください。

- ▶と き **11月30日(土)** 14時～16時

- ▶ところ 町立図書館・児童館
- ▶講師 絵本作家・イラストレーター はたこうろうさん

- ▶定員 20人(幼児・小学生)／参加無料・先着順
※未就学児は保護者が同伴してください。

- ▶申込方法 申込用紙を記入し図書館に持参、または電話で申し込んでください

☎ 町立図書館 (☎ 82-4800)



↑「大きく育ててください」と願いを込めて植樹



↑開会式に訪れた江口副知事



←山頂ではシシ汁が振舞われました

英彦山神社主催／英彦山植樹祭

修験の山 英彦山 森林を未来へ



英彦山森林再生プロジェクト

昔から多くの人から親しまれてきた英彦山ですが、これまで台風などによる被害で森林は荒廃しています。今回、英彦山神社では美しい山林を再生し、後世に引き継ぐため英彦山森林再生プロジェクト・英彦山植樹祭を実施しました。

霊峰

英彦山には江戸時代には江戸時代を超えて杉が立ち並んでいましたが、平成3年の台風で甚大な被害を受けました。今回の植樹祭は、荒廃した森林を再生しようと英彦山神社が主催。その趣旨に、登山GPSアプリを運営する㈱ヤマツブや(株)福岡銀行などの企業も

協力しました。また、インターネット上で多くの人から資金を募るクラウドファンディングにも取り組み、250人から約27万円の支援を受け、植樹費用の一部に充てました。台風の影響で延期となり、10月12日に行われた英彦山植樹祭。英彦山神社奉幣殿での開会式には江口勝福岡県副知



「自分の植えた木を見に英彦山にまた登りたい」と筑紫野市の小学4年生 森下岳大くん

事や寺西明男町長が出席。寺西町長は「皆さんの力で英彦山を宝の山にしていたください」と訴えました。式典後、参加者の皆さんは、時折小雨が降る強風の中、約50cmの苗木を持って植樹場所となる中岳山頂付近を目指しました。今回植樹するのは、杉300本、カエデ100本。植樹場所に着くと皆さんは15cmほど穴を掘り、運んできた苗木を植え、獣害防止ネットと名前などを書いた木札を取り付けていました。山頂では、登山の疲れを癒やす温かいシシ汁が振る舞われ、英彦山神社の高千穂秀敏宮司は「皆さんの協力で森林再生に一歩近づけた。霊峰・英彦山の美しい自然を取り戻して、後世へつなげていきたい」と力強く語っていました。



↑英彦山森林再生を願って植樹をする高千穂宮司



↑苗木を入れたリュックを背中にかるい登山開始



↑高千穂有昭禪宜は植樹と修験道体験のツアーを実施



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



地域のチームワークで勝利を目指せ 第54回地区公民館対抗球技大会

10月6日、そえだサン・スポーツランドなどで添田町地区公民館対抗球技大会が行われました。大会にはグラウンドゴルフに21チーム、ソフトボールに11チームが参加し、早朝から汗を流しました。どの地域もチーム丸となって全力でプレーした結果、優勝はグラウンドゴルフ=伊原、ソフトボール=町四となりました。



↑声援が飛び交う中、熱戦が展開されたソフトボール

みんな全力を出して楽しい運動会に くるみ保育園・落合小学校合同運動会

落合小学校グラウンドで9月29日、くるみ保育園と落合小学校による保・小合同運動会が行われました。今年のテーマ「全力を出して楽しい運動会にしよう」のもと、これまで練習してきたことを全力で発揮する児童や園児たち。また、長生会や地区の皆さんも応援に訪れるなど、地域みんなで運動会を楽しんでいました。



↑2人で息を合わせて、全力で走り抜けました

戦没者892人の冥福と恒久平和を祈る 添田町戦没者慰霊祭

そえだジョイで10月23日、添田町戦没者慰霊祭がしめやかに行われ、遺族や来賓など約70人が参列しました。式典では高瀬知恵子遺族会会長が「子どもや孫に悲惨な戦争を語り継ぎ、二度と悲劇を繰り返してはなりません」と挨拶。その後、献吟や献花が行われ、添田町の戦没者 892 人の冥福と恒久の平和を祈念しました。



↑菊の花をささげて、戦没者の冥福と平和を祈念

安全で安心な地域社会の実現へ 保護司会「再犯防止・更生保護」活動

添田町保護司会（伊川典文会長）は10月8日、北九州医療刑務所を視察しました。施設は作業療法を中心として、職業訓練などを実施しています。平成28年「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立し、国と市町村はこの法律が円滑に実施されるように連携を図ることや、市町村は再犯防止推進計画策定が求められています。



↑添田町保護司会は毎年、各刑務所を視察しています

農地の適正管理をお願いします 農地パトロール出発式

10月10日、農地パトロールの出発式が行われ、農業委員会が、地区内の農地を見回り、違反転用がないか、農地が適正に利用されているか調査を行いました。遊休農地は火災や病害虫の発生原因になったり、隣接の住民や農地への悪影響を及ぼしたりする恐れがあるため、除草や病害虫駆除など、農地の適正管理をお願いします。



↑農業委員会では随時農地をパトロールしています

元気はつらつとスポーツの秋を満喫 老人クラブ連合会秋のスポーツ大会

添田町老人クラブ連合会（船瀬弘会長）主催の秋のスポーツ大会が10月18日、そえだドームで行われ、ゲートボールとグラウンドゴルフ、輪投げに約 200人が参加しました。当日は、雨の降るあいにくの天気となりましたが、日ごろの練習の成果やチームワークを発揮して元気はつらつとスポーツの秋を満喫していました。



↑みんなが見守る中、的を狙って慎重に投げます

↓大和池坊の佐々木先生（中央㊟）と華道大賞・文部科学大臣賞を受賞した原田さん（中央㊤）



大和池坊の原田さん華道大賞 全日本いけばなコンクール

福岡市で9月20日から24日まで開催された全日本いけばなコンクール西日本地区展で大和池坊の原田清泉さんが華道大賞と文部科学大臣賞を受賞しました。全日本いけばなコンクールは、昭和6年から始まった日本唯一のいけばな公募展で93回目となる今回の地区展には13の流派の皆さんが作品を出展しました。10月3日、師事する佐々木常盤先生（庄上）らと寺西町長に受賞報告に訪れた原田さんは「今回の受賞は、日頃からご指導くださる佐々木先生や社中の皆さんのおかげと感謝しています。これからも日本の伝統文化の華道に励んでいきたいです」と喜びを語っていました。

願いは交通死亡事故ゼロの町 秋の交通安全週間

9月26日、交通事故をなくす添田町民運動本部による啓発活動が行われました。交通安全パレードでは、添田小学校鼓笛隊の演奏に合わせ、寺西町長らを先頭に添田小学校から役場までを行進。役場前では、宮城幼稚園とくるみ保育園、添田小学校鼓笛隊が交通死亡事故ゼロの願いを込めて演奏を披露しました。また、長年交通安全運動に取り組んできた高嶋哲也さん（添田東）に交通安全功労者表彰が贈られました。



↑「運転手さん今日も一日、安全運転で」



↓「色を塗り重ねたり、線の太さを変えたりして自分だけの作品にしてみよう」と語る平野さん㊟



色鉛筆で描く自分だけの作品 プロに学ぼう！学校de芸術体験

津野小学校全校児童と保護者が10月9日、画家の平野隆司さん（福岡市）を講師に芸術体験の授業を受けました。「プロに学ぼう！学校で芸術体験」と題したこの授業は、学校で芸術に触れる機会を創出しようとNPO法人アートもんが企画。授業参観も兼ねて保護者も参加しました。ネコやオオカミ、カブトムシなどの生き物の下絵に、色鉛筆で自由に色を塗り重ねて、それぞれ個性豊かな自分だけの作品に仕上げていました。



↑それぞれ個性豊かな作品が完成しました

11月生まれ HAPPY BIRTHDAY

♥3歳までのお子さん募集中です！12月生まれは11月18日曜までご連絡ください。 図 役場総務課広報・秘書係／☎82-1231



たくと
廣田 匠音 ちゃん
11月29日生 ①・町二

たくくん、1歳のお誕生日おめでとう！元気に育ってね！！生まれてきてくれて、ありがとう♡



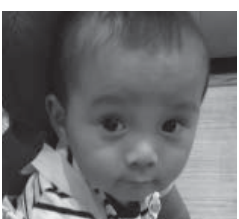
てると
八城 輝叶 ちゃん
11月15日生 ③・峰地

輝君お誕生日おめでとう♡妹2人と、仲良く元気に育ってね(*^_^*)



Eメールでも、受け付けをしています。

Eメールは
(koudojyouthou@town.
soeda.fukuoka.jp) まで
送信してください。



こう
姫野 幸 ちゃん
11月2日生 ①・町三

お兄ちゃん大好きなこうくん♥たくさん食べて、たくさん笑って、たくさん甘えて、大きくなってね◎生まれてきてくれてありがとう。

まちかど特派員投稿

気合の入った演武を披露 日本武道道武心会第20回演武会 林寛仁さん(下中元寺)からの投稿です



↑気合のはいった演武を披露しました

8月25日、香春町で武心会の第20回演武会が開催されました。6歳から社会人までの生徒が日頃の練習の成果を発揮。添田町の生徒も子どもたちの元気い演武や中学生以上の気合の入った演武を披露しました。今後も心身ともに成長できるよう練士みんなで切磋琢磨していきます。

園児に笑顔と元氣をもらいました 錦風荘敬老会

錦風荘からの投稿です



↑子どもたちからの心温まるプレゼント

9月25日、錦風荘敬老会を行いました。敬老会では、みどり保育園の園児たちから、かわいい太鼓や歌、そして肩たたきをしてもらい、とても嬉しそうな様子でした。子どもたちからプレゼントとパワーをもらい、皆さんの健康長寿をお祝いすることができました。

まちのホットNews

507人が過酷な英彦山路に挑戦 第29回英彦山サイクルタイムトライアル大会

昨年は台風で中止となり、2年ぶりの開催となった英彦山サイクルタイムトライアル大会が9月29日に行われました。県内外から507人が集結し、沿道の声援を受けながら標高差800メートルの過酷な英彦山路でペダルを踏み続けました。結果は、Aクラス(中学生除く15歳～29歳)で出場の木村純気さん(鹿児島県)が総合優勝を飾りました。また、開・閉会式会場の町体育館駐車場では、ご当地グルメフェアが行われ、多くの人が足を運んでいました。



↑添田小学校をスタート、豊前坊を目指して疾走する選手たち

普段見ることはできない文化財修理を見学 中島家住宅保存修理見学会



↑修復中の中島家内で工事関係者の説明を聞く見学者の皆さん

国指定重要文化財の中島家住宅で10月5日、保存修理見学会が行われ、町内外から約50人が見学に訪れました。江戸時代に建てられた中島家住宅は、経年劣化などのために令和3年度までの予定で、建てられた当初の姿に戻す復元修理中です。現在は、一度解体された屋根や柱、壁を元に戻す工事が行われています。今回の見学会では、工事関係者が建てられた当時の建物の様子や資材の特徴などの説明がされ、参加者は熱心に聞き入っていました。

伊能忠敬も歩いた英彦山参詣古道 添田町観光ガイドの会主催事業

添田町観光ガイドの会(植田周平会長)主催による英彦山の古道を歩くツアーが10月20日に開催されました。参加した21人は、ガイドの会の説明に耳を傾けながら、約200mにわたり石畳が残る雲母坂から財蔵坊までを散策しました。今回のコースは、かつて英彦山にお参りする人たちが通っていた参詣古道の一つです。江戸時代に日本地図を初めて作った伊能忠敬も訪れた記録が残る古道を歩いた参加者の皆さんは、往時に思いをはせていました。



↑ガイドの会による説明を聞きながら、秋の古道を歩きました

文芸歳時記



【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

萩の花許す人いてなお白し 諫山 静香
母子寮の跡地の昼を虫頻り 鈴鹿 雅子
水鳥の岸辺に立ちぬ枯葎 安永 藻香
千柿やさわってつまんでいるばかり 手嶋くみえ
忘却の世界に迷い秋の風 武田 晴子
渋柿のままで晩年最晩年 池 三太
蚊柱や中古の靴のはきごころ 西 加予
曼珠沙華咲くこと先ず考える 大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

朝日さす青田の中道吹く風に 大塚 富江
大きく流るる赤とんぼの群れ コーヒーの熱きを片手に冷凍の 五十嵐田鶴
チーズケーキを独り楽しむ 稲刈りを終へし田の畔遠近と 平井 朝子
彼岸花咲き赤の鮮やか 慰霊塔の草刈りの後に一株の 福富 廣枝
茅残されて朝光に揺る 手作りの紫蘇の香高き梅干しを 荒巻ミサ子
帰省の娘らに持たす喜び

窓の外雨音のみがぼたぼたと

難民の苦勞思ひみるなり

【俳句 投稿】

友といて句を詠む心秋は濃し 本川ミツ子
澄わたる秋の冷氣に鹿が鳴く 寺本 紀子
眺望の英彦山三岳や紅葉晴 伊勢村 稔
空蟬の軽さいのちの軽さとも 島津余史衣
シャンブーの匂ふ少女や花火の夜 柴田 一世
夏萩やゆれて川風呼ぶ館 斎藤智寿子
どやどやと来て草を刈るボランティア 天野ユキ海
倒木の味の一株しめじ茸 立花 克明

【短歌 投稿】

バス停へわずか五分の路の辺に 濱田イサオ
心とます四季は巡りぬ 吾にも合いし色柄となり 櫻木マサ子
虫千しの母の形見の着物見て 医学部に献体し二十余年 仲摩 直子
あらまほし人目の元にて我逝せむ 友を訪ふ長崎本線あかつきの 独活山強実
乗り換え駅に冬の雷鳴る

◎12月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
11月18日曜までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を
書いてください。

図 役場総務課広報・秘書係 (☎82-1231)



教育のひろば

ラグビー選手に負けるな！小学5年生踏破鍛練「そえだ立志の道」



日本開催で大いに盛り上がったラグビーワールドカップ。ラグビーの試合で大切なことは「品位、情熱、結束、規律、尊重」と言われています。これは、ラグビーが本気で体をぶつけ合う、身体的にも精神的にも激しいスポーツで、明確なルールや人としてのマナーをしっかりと守る必要があるからです。ワールドカップでは、日本代表も大活躍し、強い結束力で試合終了までひたむきなプレーを見せてくれました。

↓町内全小学校の5年生が参加



ラグビー選手に負けじと町内すべての小学5年生を対象に、最後まであきらめず粘り強く取り組み姿勢を育み、仲間と協力し支え合いながら交流を深めることを目的に10月17日、18日の1泊2日の日程で踏破鍛練「そえだ立志の道」が行われました。

1日目は、JR彦山駅から英彦山青年の家まで約9kmの道のりを歩きました。長く続く上り坂でしたが、みんなで励まし合いながら、全員、青年の家に到着しました。2日目は雨のため予定していた英彦山登山は中止となりましたが、英彦山青年の家で間伐材を使用したカラーリングやドミノ、ドッジボールで楽しく仲間と交流を深めました。

この活動が児童たちにとって、一生忘れられない経験と思い出になったのではないのでしょうか。

教育委員の退任・新任・再任 花邊教育委員が退任されました

平成18年から約13年間、教育振興に貢献していただいた花邊雅子さん(新城)が9月30日、教育委員を退任しました。長い間ありがとうございました。

教育委員の新任・再任

花邊委員の後任として、新たに10月1日に梅野香理さん(下落合)が寺西町長から任命を受けました。また、崎山菜穂子さん(町二)が再任されました。任期は、梅野さんが令和3年10月20日(花邊委員の残任期間)まで、崎山さんが令和5年10月21日までです。



←新任の梅野教育委員

問 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

試験・募集

「パート」ひこさんホテル
レストランスタッフ募集

▼業務内容 お客様への夕食の配膳、片付けなど

▼勤務時間 16時～20時(客数などによる変更あり)

▼時給 841円／通勤手当あり

※勤務時間などで希望があれば面接時に相談してください。

問 ホテル和 (☎ 85-0121)

自衛官採用試験

【陸上自衛隊高等工科学校生徒(推薦)】

▼試験日 令和2年1月5日(日)または6日(日)

▼試験会場 陸上自衛隊健軍駐屯地(熊本県)

▼試験資格 日本国籍を有する15歳以上17歳未満の人

▼受付期限 11月29日(金)

【陸上自衛隊高等工科学校生徒(一般)】

▼試験日 令和2年1月18日(土)

▼試験会場 立岩公民館(飯塚市)

▼試験資格 日本国籍を有する15歳以上17歳未満の人

▼受付期限 令和2年1月6日(日)

【第6回自衛官候補生】

配偶者や交際相手からの暴力に悩んでいませんか

11月12日(火)から25日(月)までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。DVとは、配偶者や恋人などから受ける暴力です。身体的な暴力だけでなく、怒鳴る、外出を制限するなど暴力です。気軽に相談してください。

▼相談窓口 ▼配偶者暴力相談支援センター(福岡県田川保健福祉事務所)／月曜～金曜8時30分～17時15分(☎ 42-4850) ▼福岡県あすばる女性相談ホットライン／9時～17時(☎

人権について考えてみませんか

人権擁護啓発強調月間です

12月1日(日)から31日(火)は「添田町人権擁護啓発強調月間」です。人権が尊重され、安心して心豊かに暮らせるまちを目指し、町では期間中、次のような取り組みを行います。

期間中の主な取り組み

広報紙による啓発、全世帯に啓発チラシを配布、町内主要箇所に啓発のぼり旗・懸垂幕を設置、スーパー前などで街頭啓発、公共出先機関などで職場啓発、人権ポスター・標語の展示、人権講演会の開催など

【人権講演会】

●とき 12月3日(火) 18時30分～

●ところ オークホール／入場無料
手話通訳あり

●講師 伊藤真波さん(北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表、日本初義手の看護師)

●テーマ 「あきらめない心」
●託児 300円／申込期限 11月22日(金)

問 教育委員会社会教育課
人権同和推進係(☎ 82-5800)



▼試験日 令和2年1月26日(日)または27日(月)
▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地(北九州市)
▼試験資格 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の人
▼受付期間 11月13日(火)～令和2年1月14日(火)
※試験会場などは変更になることがあります。詳しくは問い合わせてください。
問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 (☎ 0948-22-4847)

農地の出し手、受け手募集

農地中間管理機構(公益財団法人福岡県農業振興推進機構)

を通じて、農地の貸借を行います。農地中間管理機構は、農地を貸したい出し手から、規模拡大などを行いたい受け手(担い手)への農地の集積・集約化を進めるための中間的受け皿となる組織です。公的機関です。で、農地の出し手は確実に賃料が振り込まれるなど、安心して貸し出すことができます。また、受け手は、契約や地代の支払いを一本化できるメリットがあります。

▼農地出し手の募集 随時

▼農地受け手の募集期限 11月29日(金)

令和2年5月～6月 問 役場地域産業推進課農業振興係(☎ 82-1237)
公益財団法人福岡県農業振興推進機構(☎ 092-716-8355) 福岡県水田農業振興課(☎ 092-643-3474)

人権・相談

「添田町部落差別の解消の推進に関する条例」を制定

平成28年12月に「部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)」平成31年3月に「福岡県部落差別の解消の推

養育費・ひとり親110番

養育費や家庭裁判所の手続きなどについて、弁護士が電話で丁寧にアドバイスします。

▼とき 偶数月(10時～13時)Ⅱ第3土曜日(12月21日(土)、令和2年2月15日(土)、奇数月(13時～16時)Ⅱ第3水曜日(11月20日(水)、令和2年1月15日(水)、3月18日(水)

▼相談番号 ☎ 092-724-2644 ※ひとり親家庭を対象に就業支援も行っています。
問 ひとり親サポートセンター飯塚プラランチ (☎ 0948-21-0390)

女性の人権ホットライン

福岡法務局と福岡県人権擁護委員連合会では、11月18日(月)から24日(日)までの1週間を、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、女性に関する人権問題についての相談を電話で無料で受け付けます。

▼とき 11月18日(月)～22日(金)Ⅱ8時30分～19時、23日(土)～24日(日)Ⅱ10時～17時
▼相談内容 夫・パートナーからの暴力、職場でのセクハラ、ストーカーなど
問 全国共通ナビダイヤル (☎ 0570-070-810)

イベント

IHクッキング体験と
フラワーアレンジメント

▼とき 11月26日☎10時～13時

▼ところ オークホール

▼講師 長副佐希

子さん（級フラ

ワーデザイナー）、

山田奈緒美さん（九電

ホームアドバイザー）

▼対象者 町内在住者／定員10人

▼募集期限 11月22日☎

☎ オークホール（☎ 82―2559）

ふくおか水もり自慢！
in 英彦山

基調講演や県内の団体の発表
を聞いて、自然の大切さを、一
緒に考えてみませんか。どなた
でも来場できます。

▼とき 12月8日☎10時～17時
（受付9時30分から）

▼ところ オークホール

▼内容 ▽基調講演／九州大学
大学院工学研究院教授島谷幸
宏氏、九州大学大学院芸術工
学研究院准教授知足美加子氏

▽活動報告（40団体）

☎ 九州大学流域システム工学研
究室（☎ 092―802―3419）

▼申込方法 電話または福岡県
看護協会サイトで申し込み
☎ 福岡県ナースセンター

（☎ 092―631―1221）

住民票などで旧氏（旧姓）が
併記できるようになりました

婚姻や養子縁組などで氏に変
更があった場合でも、手続きを
すれば旧氏（旧姓）を、住民票、
マイナンバーカード、印鑑登録
証明書などに併記できます。

▼申請窓口 役場住民課戸籍住
民係

▼必要なもの 本人確認書類、
併記する旧氏から現在の氏ま
での記録が確認できる戸籍謄
本など、印鑑

※希望者は事前に問い合わせく

お知らせ

受動喫煙防止対策説明会



健康増進法が改正
され、令和2年4月
1日から、会社、工
場、ホテル、飲食店など、2人
以上の利用者がいる施設は原則
屋内禁煙にする必要があります。

▼とき 11月25日☎ ①10時30
分 ②14時／各回30分前
から受け付け

▼ところ 田川青少年文化ホー
ル小ホール（田川市）

▼対象者 施設の管理者、経営
者など

ださい。

☎ 役場住民課戸籍住民係

（☎ 82―1233）

2020年農林業センサス

令和2年2月1日現在で、全
国一斉に農林業センサスが実施
されます。この調査は今後の農
林業の政策に役立てるため、5
年ごとに実施されています。農
林業を営んでいる皆さんのとこ
ろに、12月中旬から調査員が訪
問しますので、ご協力をお願い
します。

☎ 役場地域産業推進課農業振興
係（☎ 82―1237）

健診は忘れずに受診を

後期高齢者医療広域連合では、



添田町を元気に！

地域おこし
協力隊通信

Vol. 14

○添田町と赤村のコラボ企画

カリッカリ 米粉の料理教室

●と き 11月20日☎
11時～13時30分
（受付10時30分～）

●ところ 赤村役場調理室

●参加費 1人1,000円

●持参物 エプロン、三角巾

●講 師 野菜ソムリエで料理研究家の添田
町地域おこし協力隊佐々木隊員

●定 員 16人（定員になり次第締め切り）



●申し込み・問い合わせ
あか村地域おこし協力隊（赤村役場）
長瀬隊員（☎ 62-3000）

▼申込方法 福岡県のホームペ
ージから申し込んでください

▼申込期限 各開催日の1週間
前まで

※他の会場については問い合わ
せください。

☎ 県保健医療介護部健康増進課
保健事業係
（☎ 092―643―3270）

税を考える週間

毎年11月11日～17日は「税を
考える週間」です。詳しくは国税
庁ホームページをご覧ください。

☎ 田川税務署（☎ 44―0430）

令和元年分年末調整説明会

▼とき 11月20日☎ ▽田川市

被保険者を対象に健康診査と歯
科健診を実施します。

【健康診査】

生活習慣病の予
防や早期発見・早
期治療を目的とし
て、健康診査を実
施しています。被保険者には、
6月上旬に受診票とお知らせを
送付しています。



▼受診期限 令和2年3月31日☎

▼自己負担金 500円

▼受診の方法 健康診査の実施

医療機関で個別予約して受診

【歯科健診】

口腔機能低下や肺炎などの疾
病予防のため、歯科健診を実施
します。対象者には、5月下旬
に受診券や質問票などを送付し

内の法人・個人Ⅱ10時～12時
▽田川郡内の法人・個人Ⅱ14
時～16時

▼ところ 田川青少年文化ホー
ル（田川市）

☎ 田川税務署法人課税部門
（☎ 44―4576）

11月は個人事業税
第2期分の納期です



個人事業税は、
地域の特性を生か
した地方創生や、
皆さんの安心・安全の向上を図
るために役立てられています。

▼納期限 12月2日☎

※口座振替でも納税できます。
詳しくは問い合わせください。

ています。

▼対象者 今年度76歳になる（昭

和18年4月1日～昭和19年3

月31日生まれ）県内の被保険者

▼受診期限 12月31日☎

▼受診方法 歯科検診の実施医

療機関で予約して受診

▼持参品 受診券、質問票、被

保険者証

▼受診料 300円

▼その他 令和2年度までは、
77歳以上の希望する被保険者
も受診できます

☎ 福岡県後期高齢者医療広域連合

お問い合わせセンター

（☎ 092―651―3111）

クアハウス休館

館内清掃・設備点検のため。

▼とき 11月18日☎～24日☎
（7日間）

☎ クアハウス
（☎ 82―5061）

ありがとうございました
（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し ▽（故）鍛冶千代子

（庄上）

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問 ▽伊藤麗子（添田中）▽

三丸十七子（添田中）▽田代律

子（田川市）▽高橋浩月（町四）

▽坂本泰子（峰地）

○錦風荘へ

▼慰問 ▽伊藤麗子（添田中）▽

田代律子（田川市）

（令和元年10月14日現在）

☎ 福岡県飯塚・直方県税事務所
（☎ 0948―21―4903）

病院等に就職したい方のため
の再就職支援研修（下半期）

▼とき 令和2年1月16日☎、
23日☎、30日☎、2月6日☎
（4日間）10時～15時

※1月30日の病院実習は病院ご
とに時間が異なります。

▼ところ ナースプラザ福岡（福

岡市）／実習は県内の病院

▼対象 福岡県在住でブランク

の期間に関係なく、未就業で

6か月以内に就職を希望する

看護職

▼定員 40人／受講料無料

▼応募締切 12月9日☎



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soeida.fukuoka.jp



木の遊具やおもちゃが大集合 木もくまつりINそえだ

10月5日と6日の2日間、木もくまつりが、ひこさん花工房で行われました。来場者は積み木やシーソーなどで遊んだり、木のワークショップをしたりして、木と親しんだ2日間となったようでした。



広報そえだ 町長室

東京大学第28代総長 小宮山宏さんが会長で主催のプラチナ懇談会に、麻生渡前福岡県知事からの誘いで初めて参加した。18時からの懇談会であったが意外と早く着いた。小宮山会長も既に東京から着いており、始まるまでにご挨拶と雑談を交わした。▼福岡から車で1時間半であること話をすると、意外に近いという話になった。北海道のニセコからは札幌まで車で6時間かかった話や、広島が行きにくい、地方都市に行く場合は羽田を起点に行き来する方が時間的に早いなど話した。その中で、JR日田彦山線の話になり、今後の地方交通体系の話にもなった。バスで十分住民の皆さんのニーズをとらえれば利便性は増すし、運行は十分出来る。鉄道、鉄道と言ってこのニーズはとらえられるのか、目的施策と公共施策を混同するとか、目的施策は難しい。かなり衝撃的な話であった。▼プラチナ社会を提唱し、連携し実践している。プラチナ社会とは、高齢化、観光、産業・雇用の3つの側面から問題解決を目指す新しい社会像である。この、小宮山宏さんが唱えるプラチナ社会を実現するため、一人ひとりが動き出し前へ進むため、各自自治体、企業の取り組みやビジョンを紹介し、具体的なアクションへの理解・浸透を図る懇談会である。▼今回は、「行動変容を促す健康経営」を中心に意見交換。まず始めに弘前大学の村下公一教授の「健康ビッグデータで『寿命革命』」の報告があり、自治体首長7人、企業会長・社長・大学関係者7名の14名で、テーブルを囲み自由に意見が交わされた。▼弘前大学が地域と企業と連携しヘルスケア分野に改革をもたらす3本の戦略的研究課題として取り組んでいる、I健康ビッグデータを用いた疾病予防法の開発、II予兆因子に基づいた予防法の開発、III認知症サポートシステム(意思決定支援)の開発が紹介された。▼健康寿命の延伸への取り組みや課題についての意見交換が行われた。健康サポートに力を入れていることや、企業の開発した健康サポートに有効な方策など紹介の中で、健康寿命が延び医療費などへの影響評価はどうなのか、データを示し取り組む必要があるという指摘や、健康寿命を延ばすことだけが目的になっていないだろうか。ひとつの目的としては良いのだろうが、個人として、健康でまだまだ働きたい人へ対応できる社会構築も必要ではないか、健康寿命が延びた間の幸せはどうなんだろうかなどが議論された。▼また、この懇談会で実現した事例も紹介された。各自自治体と地域の健康寿命延伸事業である。民間企業の株式会社正興電機製作所が行っている。▼一部紹介すると次の通りである。●大分県では健康寿命日本一を目指し2017年より県民の運動促進に取り組んでいる。運用状況として、★地域特性を活かした運用モデルで、①温泉巡りのスタンプラリー ②利用者(当初)1万人→3.5万人! ③参加者活動量当初から××UP!等である。福岡県内でも、行橋市や糸島市にてフレイル(虚弱)やMCI(軽度認知障害)改善の実証事業に取り組み中であることも紹介された。高齡化率42%の添田町として非常に興味のある事であった。勉強してみたい。